

第167回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成25年4月)

2013.4.25

株式会社 岩手朝日テレビ

## 第167回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 25年 4月25日(木) 午前11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ3F大会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 6名

委員 長	村 田 久
委員	そのだ つくし
委員	田 口 幸 雄
委員	大見山 俊 雄
委員	畠 山 さゆり
委員	菊 池 勝

欠席委員数 1名

委員	小 松 豊
----	-------

### 会社側出席者名

代表取締役社長	富 永 健 治
専 務 取 締 役	辻 一 成
取締役 報道制作担当	小 椋 和 雄
取 締 役	長 生 正 広
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作部長	伊 波 伴 准
番組ディレクター	菊 池 美 穂
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	柏 葉 智
番組審議会事務局	佐 野 尚

#### 4. 議 題

(1) 合評番組

「いいコト！」

放送日時：4月13日(土)午前9時30分～10時50分

(2) 5月単発番組及び4月の視聴率について

(3) 次回審議会

開 催 日：平成25年5月29日(水)午前11時～  
岩手朝日テレビ 3F大会議室

合評課題：「IATスーパーJチャンネルいわて」

放送日時：5月7日(火)午後6時15分～6時55分

#### 5. 概 要

- \* 柏葉事務局長より5月の単発番組と4月の視聴率の内容が発表された。
- \* 合評課題は情報番組「いいコト！」。
- \* 新しくできた商業施設からの中継や、日帰り温泉特集などの番組内容が、春らしくさわやかで土曜の朝にふさわしい放送だった。
- \* テロップが大きくて、とても見やすく情報をメモしやすかった。
- \* スタジオMCのアナウンサーらの表情や反応が少々大げさに感じられた。

## 6. 議事の内容

柏葉事務局長) それでは、只今より、第 167 回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。本日は合評課題番組におきまして、報道制作局佐々木局長、伊波部長、今回の番組担当の菊池ディレクターが出席しています。宜しくお願いします。それでは村田先生、議事進行をお願いいたします。

村田委員長) 今日は社長が復帰したということで安心しました。今日は新しく小田島委員にかわって、菊池さんが番審の委員として入っていただいた。社長、ご挨拶をお願いします。

富永社長) 今年度最初の番組審議会ということで、今年 1 年間宜しくお願いしたいと思います。今も委員長から紹介がありました、長年委員を務めていただいた小田島さんに代わりまして、同じ J A から菊池さんに来ていただいた。私の後にご挨拶をいただきたい。宜しくお願いします。前回と前々回と 2 回にわたり欠席して申し訳ございませんでした。

昨年度は我社開局以来のローカル・全社とも売り上げが新記録でした。この後報告がありますが、視聴率におきましても開局以来の成績だったと思われれます。4 月立ち上がりの視聴率ですが、若干心配をしていましたが、この間の日曜日に「ビックダディー」の 4 時間番組がありました。ビックダディーが岩手に戻り生活するという内容でしたが、開局以来 10 本の指に入るくらいの視聴率を取り、裏局との視聴率の順位をひっくり返した次第でした。今日はお手元に大入り袋を用意しています。視聴率あるいは番組内容におきまして、1 年間がんばっていきたいという所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

村田委員長) ありがとうございます。それでは菊池委員、ご挨拶をお願いします。

菊池委員) 全農岩手の菊池と申します。前任の小田島からこの仕事を引き継ぎまして、正直緊張しております。

私事ではありますが、私の息子に高校 3 年生の高校球児がおります。I A T での番組では高校野球をたくさん取り上げているようで、非常に楽しみにしています。そういう中でこれからもよろしくお願ひしたいです。

村田委員長)            ありがとうございます。それでは5月の単発番組と4月の視聴率の説明をお願いします。

柏葉事務局長)            では、5月の単発番組と4月の視聴率についてお手元の資料によりご説明させていただきます。

まず、5月の単発番組です。2日(木)14:25からはKKB(鹿児島放送)制作「夢紀行南薩摩 36代木村庄之助さんの故郷へ」をお送りします。36代木村庄之助さんの故郷・南薩摩、鹿児島県枕崎市を同じ鹿児島県出身の元競泳オリンピック選手宮下純一さんが訪ね、庄之助さんと対談するほか、正月相撲を体験します。

また、11日(土)21:00からはSMA P中居正広主演「ドラマスペシャル 味いちもんめ」を18日(土)21:00からはSMA P草なぎ剛主演「ドラマスペシャル スペシャリスト」を放送します。実はこの2番組、18日に草なぎさんが「スペシャリスト」の中で演じるワケあり刑事が、11日の「味いちもんめ」のワンシーンに登場。中居さんが演じる板前の“ある窮地”を救うといったSMA Pのメンバー同士で2週連続放送のバトンを繋ぐ夢のコラボレーションです。ご期待ください。そして5月27日から7月9日までの月曜日から木曜日の全25回、18:53から「純情応援歌2013」をお送りします。

この番組は夏の高校野球岩手大会出場校の生徒が作った学校紹介番組で、この時期すっかり恒例となりました。是非ご覧ください。

次に、4月の視聴率についてです。ご覧のように全日 7.9%、ゴールデン 13.0%、プライム 12.9%、プライム2 7.5%となり、全日は3位、ゴールデン、プライム2は1位、プライムは2位を獲得しました。尚、プライム2は48か月連続1位を継続中です。

4月も改編に伴う特番編成で、御覧のように2時間スペシャル、3時間スペシャルの多い週でした。

4月は世界フィギュア国別対抗戦もあり、高視聴率を期待したものの伸び悩み、全体的にスペシャル番組が苦戦しましたが、21日放送しました「ビッグダディ19」が19時からの第1部が24.6%、21時からの第2部が34.1%と高視聴率となり、ゴールデン1位を獲得することが出来ました。

尚、34.1%をとった「ビッグダディ19」第2部の占拠率が49.9%でした。つまりテレビをつけている家庭の約半数がこの番組を見ていたこととなります。ちなみに、4月からスタートしましたNHK朝の連続ドラマ「あまちゃん」は、4月平

均視聴率 24.2%でした。5月の単発番組と4月の視聴率については以上でございます。

続きまして、放送番組の種別ごとの放送時間についてご報告させていただきます。これは、新放送法に基づき、4月と10月の年2回番組審議会にて報告することになっておりますが、今回は昨年10月から3月までの6か月の放送番組種別ごとの放送時間を報告いたします。それではお手元の資料をご覧ください。各月第3週が対象期間となっており、その対象期間の放送時間全体が55,859分でした。その内訳は報道が11,267分、教育が5,978分、教養が11,849分、娯楽が18,511分、その他通信販売が7,531分、その他（オープニング・クロージング）が723分でした。また、対象期間におけるCMの放送時間は8493分45秒でした。

以上、本日の番組審議会にご報告させていただくとともに、後日IATのホームページにも公表いたします。

村田委員長)

ありがとうございました。みなさんから何かございますか。何もなければ合評課題の情報番組「いいコト！」を審議します。

大見山委員)

全体的には季節感が出ていて非常にさわやかと元気というキーワードで、好印象で見させてもらった。特に土曜の朝なので、ターゲットは家族になるかと思う。細かいところで気になったのは、前にも言ったかと思うが、後ろのセットが安っぽくて、もう少し工夫ができるのかなど。人工的なセットだとは思いますが。それとアナウンサーの表現が、特に弁当を紹介するシーンが象徴的だが、小窓に出てくる表情と反応が、「おー」とか「へー」とか「わー」とかで、大きさに感じられた。よって本当にその弁当がおいしいのかどうなのか、わざとらしく感じられた。特に最後の部分で「このお弁当は予約が必要です」という紹介に対し「へー」という反応があったのは理解に苦しむ。わざとらしい表現が気になった。

天気予報のシーンで最低気温を出した時、0.1℃とか0.2℃とかコンマ以下の数字はいらぬのではないか。紹介時間が短いのに細かい数字まで出されると、目で追っていくのが大変だと感じた。それとCMの後にいいコト大賞と五万円クイズの当選者を発表すると言っておきながら、CM開けにはいいコト大賞の発表しかやらなかった。結局2回目のCM開けにやっと5万円クイズの当選者発表をしたわけだが、発表を出し惜しみしているように見え、いやらしさを感じた。

中継会場のフランクランで店舗の紹介をするならもう少しおしゃれ感を表現すべきだと思う。現地の高野リポーターの

服装がエプロン姿だったのは、店舗の良さを表現できていないのではないかと感じた。ただその後の食品売り場では、高野さんの食べ物の表現は良かったし、よく勉強されているなと感じた。食品以外もそのように表現できれば面白くなってくるかと思う。

菊池委員)

土曜朝の放送ということで、これから出かける人にとっては、さわやかでいい番組だと感じた。フランフランからの中継で、高野リポーターが女装していたが、そこまでやる必要があるのか疑問に感じた。もう少し上品な格好をされたほうがお店の方からも喜ばれるのではないか。

日帰り温泉の特集は時期的にもいい感じだし、料理もおいしそうだった。

番組後半のいいコトマンの登場は、番組の流れから見て対象が分からず無理をしているように感じた。後半部分は5万円クイズまでなんとか引っ張っていくように思えた。

大見山委員からアナウンサーの表現についての意見が出たが、私は笑顔がいいという印象を受けた。

そのだ委員)

爽やかなのは分かるが、内容に薄味感を感じた。薄味すぎてテンポが遅く思えた。気になったのは背景のバーチャル、せめて窓の外を桜満開にするとか。ゴエティーが画面の隅で小さく動いているのが残念に思えた。温泉の紹介シーンもアナウンサーらのリアクションが同じように感じた。中継リポーターの高野さんが女装をしていたのが、少し残念に思えた。本当にやるなら気合を入れてメイクをしてほしかった。ただ食べる時のリアクションは上手に感じた。いいコトマンがいつ見てももう少し手を加えてほしいと思う。

田口委員)

私はフランフランという店を知らなかったが、家内や娘はよく知っていた。他の女性に聞いてもよく知っていると。女性に話題の店を取り上げながら、「ななっく」を紹介する手法が良かった。「ななっく」を紹介することで周辺の活性化につながるいい企画だった。番組の企画意図とは違うかもしれないが、来店客や商店街の店主、通行人の声を拾っても良かったかも。委員の皆さんの評判は良くなかったようですが、高野リポーターが女装して中継をした勇氣に私は感心した。場に馴染んではいたが、アップはやめた方が良い。「ななっく」の他の店ももっと紹介しても良かったのではないか。

日帰り温泉特集は情報を得やすいし、ありがたい。ネットで調べるのもなかなか厄介なので。志戸平温泉の紹介では設備もりっぱで、行ってみたいと思ったが、最後に平日限定で

料金が15,000円と出たので躊躇した。豪華な場所を紹介するのもいいが、その後の2か所、湖山荘や湯こたんの森はリーズナブルで良かった。

取材していた中尾アナウンサーが良かった。気持ちよさそうに風呂に入るし、おいしそうに食事をしていた。旅番組のタレントよりもうまかった。仕事を忘れていてのではないかと思うくらい。温泉の良さが伝わってきた。番組全体では女性をターゲットにし、女性が喜びそうな番組だなど。最近は男性より女性の方が大胆にお金を使えるようなので、女性を取り込むことが大事。これからも期待して観ていきたい。

畠山委員)

ローカルの情報番組はどうしても寂しい感じがする。その寂しさがどこから来るのか考えたら、バーチャルスタジオがどうしてもスカスカに感じてしまい、その中にMC3人がポツンといる。VTRとスタジオの登場人物も同じ人ばかりで賑々しさが少ないからだと思う。そういう状況だからリアクションの部分が無駄に大げさになってしまうのではないかと。それが痛々しく感じてしまい寂しくなってしまうのかと思う。一方的にスタジオから放送するのではなく、地元の人を巻き込みにながらもっと出演させると、その人たちが勝手に宣伝してくれると思う。

中継の高野リポーターにはもっと楽しんでやってもらいたい。女装するならする、仮装するならすると中途半端感を払しょくすると面白いと思う。

村田委員長)

「ななっく」のような場所は男性はあまり知らない。生活につながる商品をたくさん紹介したのは良かったが、高野リポーターの女装については理解に苦しむ。きれいな女性がリポートしたほうがかえって良いかも。視聴者へのうけを狙ったのでしょうけど、やりすぎな感じがした。

一番気になったのは、新人アナウンサーの張り切り様。不慣れなのは分かるが、スタジオとリポーターのやり取りで、ごちゃごちゃ相槌を打つし、口をはさむ回数が多すぎる。気の利いたセリフを言えるならいいが、それは無理な注文。指導する方もしっかりしないと。いくら新人でもいただけない。今、番組には3~4人若い出演者がいますが、ただごちゃごちゃ騒ぐようでは、番組を壊してしまうことになるので、気を付けてほしい。特集で花見とか日帰り温泉をやりましたが、季節に合った内容でわかりやすく好感が持てた。一番良かったのはテロップの表示が大きくて分かりやすかったこと。視聴者にとっても情報をメモしやすい。テロップの使い方をうまく活用していった方が良い。

全体的にはバラエティーに富んでいいのですが、ごちゃごちゃしすぎるきらいもある。新人アナウンサーもこれから場数を踏まないと、と思う。これだけはやってはいけないということもきちんと教えるべき。私からは以上です。

何か言い足りなかったことなどご意見ありますか。無いようであれば私の方からですが、高野リポーターの女装についてですが、本当に必要だったのですか。菊池さん、教えていただきたい。

菊池  
ディレクター)

高野リポーターに関しては、いつも中継に関係する格好して楽しく見せようとしている。今回の女装については、毎回担当しているディレクターとは別の人が企画したせいか、私も少し方向を間違ったかと感じた。他の放送もあわせて見てもらおうと、私たちが目指しているものをご理解いただけるかと思う。今回の中継に関しては違う見せ方ができればよかったと思っている。

佐々木  
報道制作局長)

委員のみなさまからいただいたご意見はその通りだと考えます。アナウンサーらのフリートークについては、みんな20代の若い連中でもあり、任せてしまっている部分もあるので、継続して指導していきたい。それとテロップで当選発表を引っ張ることについては、裏局番組との視聴率の関係で、最後まで見てもらうために行っている手法である。やり方はあざといとご指摘を受けたが、キー局もCMまたぎを用いて少しでも視聴率に貢献しようとして工夫しているのは事実。是非もあろうかと思うがご理解いただきたい。

村田委員長)

番組内での豪華プレゼントが多いと思う。それが続いているといいけど、これだけで引っ張っていくようでは困る。もう少し内容で勝負してもらいたい。

そのだ委員)

番組内での試食は不可能か。それが足りない気がする。

佐々木  
報道制作局長)

バーチャルスタジオですので色の制限がある。さきほどスタジオにたくさん人が来て賑やかにという意見があったが、

なぜそれが出来にくいかというと、緑やそれに近い色だと透けてしまうので、その指導もしなければならなくなる。本当に呼ぶ場合は、バーチャルではない普通のセットで収録しな

ければならなくなる。そこがネックになっている。

村田委員長) 他局との違いはスタジオで食べ物を食べるシーンが極端に少ないこと。他局は果物などが出てくるとさっとおいしそうに食べる。IATはそれがすごく少ない。出来ないのかもしれないが、もう少し工夫してほしい。中継などの現場で食べても、臨場感がない。スタジオで食べると視聴者もより引きつけられる。その新鮮さが食べ物には大切だと思う。実現は難しいとも思うが。

佐々木  
報道制作局長) 乗り越えなければならない課題だと思う。バーチャルではなくてもやる方法はあるので。かなり複雑にはなるが、チャレンジしていかなければならない。

村田委員長) 難しいかもしれないがチャレンジして、茶の間においしそうな映像を届けてほしい。  
他何かございますか。無ければ伊波さんの方から何かございますか。

伊波  
報道制作部長) さまざまなご意見をいただきましてありがとうございます。この番組は土曜の朝に家庭にいてゆっくりとみられる方を対象にしている。ターゲットを男女別にみると圧倒的に女性が多い。年代別だと40～50代の反応が多くなっている。その中で解決していかなければならないことは、ご意見にもありましたが、セットや衣装、演出の問題など様々ある。それらの問題を少しでも解決しながら、アナウンサーの指導もしっかり取り組んでいきたい。この番組は4月から放送の枠も伸びまして、以前よりもいろいろな情報や表現を盛り込むことが出来るようになった。裏局との戦いもあるが、視聴者にとって週末の朝が楽しくなるような、いいことが増えるような番組を日々、技術とか情報収集、演出方法を磨いてもっといい番組にしていこうと努力していこうと考えているので、今後とも宜しくお願いします。

村田委員長) 次回の開催についてお願いします。

柏葉事務局長) 次回の番組審議会は5月29日水曜日で、午前11時からこちら3F会議室での開催になります。合評課題は5月7日火曜日午後6時15分から放送の「スーパーJチャンネルいわて」を合評課題とします。4月からタイトルを変更し、月

～水の女性MCを丹野アナウンサーから新人の坂本アナウンサーに、バーチャルスタジオもリニューアルしました。5月7日の放送では、もう1人の新人高井アナウンサーも中継で出損する予定です。ぜひご覧になって、貴重なご意見を頂きたいです。宜しくお願いします。

村田委員長) そのほか何かございますか？無ければこれで終わります。  
ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置

ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。  
系列各局に議事録を送付。  
本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。  
インターネットホームページに掲載。

9. その他の参考事項

特になし

10. 配布資料

- ◎ 5月単発番組編成予定表
- ◎ 4月岩手地区視聴率